

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(155)、(188)」

2. 日時：令和5年12月13日(水) 16時00分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主
任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（本編資料）
- ・浜岡原子力発電所 基準津波策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（補足説明資料）
- ・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査対応スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい、規制庁地震津波審査部門のスズキですそれでは時間になりましたので浜岡原子力発電所、
0:00:09	歴史記録及び津波堆積物に関数調査コメント回答。
0:00:14	後で2回目のヒアリングになります。
0:00:17	これ津波堆積物調査、イベント堆積物ですねこの調査っていうところで資料としてはコメント回答本編。
0:00:25	あとは資料集とか補足説明資料ですね。
0:00:29	この3点ということで、これを前回ヒアリングから修正し、
0:00:33	した箇所を中心に説明をまずお願いします。
0:00:38	中部電力の大賀です。前回12月6日の日に1回目のヒアリングを実施していただきました。
0:00:45	前回ヒアリング資料で当社の評価についてですねわかりづらかった点等を修正してきましたので、その点を中心にご説明をさせていただきます。説明時間およそ10分程度となっております。
0:00:58	よろしくお願いします。
0:01:00	中部電力の西村でございます。
0:01:02	浜岡原子力発電所、歴史記録及び津波堆積物に関する調査について、前回ヒアリングからの変更点を中心にご説明します。
0:01:10	今回は特にイベント堆積物の認定方法、判断根拠を整理して参りましたので、コメント回答資料にて説明いたします。
0:01:18	8ページをお願いいたします。
0:01:22	こちらは前回ヒアリングでのご確認を踏まえて、文献調査の調査方法、箱書きの下の注書きに追記してございます。その他10ページ等の該当箇所にも追記してございますのでご確認をお願いします。
0:01:35	22ページをお願いいたします。
0:01:43	こちら、コメント回答概要になります。
0:01:46	下の箱書きですが、
0:01:48	①及び②の記載について適正化を実施してございます。①については、
0:01:54	今回加えたイベント堆積物の認定方法を整理したことというのを冒頭に加えておましてエース後半部分の、
0:02:01	ではイベント堆積物がないことを示す提出堆積物の位置付けがわかるように修正してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:07	②については、前回のご確認を踏まえて、層厚が比較的厚いものについて、考察を加えるように適正化してございます。
0:02:15	23 ページをお願いします。
0:02:21	こちらイベント堆積物の認定方法を整理したページになります。
0:02:25	イベント堆積物の認定の考え方、特に供給元を重視しているということがわかるように記載を適正化してございます。
0:02:32	また、イベント堆積物の定義についても明確化を行いましたので、そちらもあわせてご説明いたします。
0:02:38	箱書きですが、
0:02:40	イベント堆積物の評価にあたっては、上下の地層と異なる層層の地層等について、津波堆積物に見られる特徴を考慮して、①供給元、②そうそう。
0:02:49	(3) 平面的分布を、
0:02:52	主に目視によるコウ観察によってそれぞれ保守的な判定基準を設定した上で評価し、
0:02:58	津波に特有の特徴である、供給元を重視してイベント堆積物を認定します。
0:03:04	イベント堆積物の定義としては、津波起因であると判断できる、または高潮、洪水、土石流等の津波以外の要因も考えられるが、津波起因である可能性も否定できない堆積物と、
0:03:16	してございます。
0:03:17	前回の記載ですと、津波以外の高潮等もすべて含まれるような記載になっていたため、そこを適正化してございます。
0:03:24	イベント堆積物の認定については、下表に示す通りで、
0:03:29	(1) (3) のすべての評価項目において判断基準を満たし、
0:03:34	津波起因であると判断できる、または津波起因である可能性を否定できない堆積物を、
0:03:39	Aとしてイベント堆積物として認定します。
0:03:44	で、(1) 供給員が海岸付近である可能性を否定できないが、
0:03:48	(2) の宗層或いは(3) の平面的な分布の判定基準を満たさない堆積物、BからDにつきましては、試料分析等の精査によりイベント堆積物であるかを詳細に検討します。
0:04:01	こちら、前回もご説明した通りで、なお、今回の調査では該当がない部分になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:07	最後ですが(1)供給元が海岸付近ではないことから、成因等から判断できる堆積物として、から1はイベント堆積物ではないと判断いたします。
0:04:17	24ページをお願いします。
0:04:20	24ページは清委員から、供給元が海岸付近ではないと判断した堆積物の事例でございます。
0:04:27	下表に示すように、供給元として崩れ植生カセ注入と評価している堆積物の事例を載せてございます。
0:04:36	25ページは評価結果の一覧表になります。
0:04:42	右側の機器記号の凡例について適正化してございまして、先ほど説明したイベント堆積物の認定方法の記載と合わせ、修正をしております。
0:04:53	26ページをお願いします。こちらは敷地のイベント堆積物の分布を示した平面図になります。
0:05:01	27ページは敷地西側の地質断面図です。
0:05:06	下の図で、敷地9から18において提出堆積物の中にイベント堆積物を確認していることから、
0:05:14	これ、これより標高の高い敷地19から21、1において、青丸で示す、
0:05:20	D種堆積物の中にイベント堆積物堆積物がないと判断した根拠を、10ページ以降に示しています。
0:05:27	28ページは、コア写真でコア写真の断面図で示したものになります。
0:05:34	29ページは、具体的な判断根拠を示したページです。
0:05:39	各地層の評価と根拠について、評価項目(1)から(3)と体を付けた記載にしてございまして、判断した根拠がよりわかり、
0:05:49	わかりやすくなるように修正してございます。
0:05:53	79を例にご説明します。表からもご覧ください。
0:05:58	79では、かぎ括弧で示しているように、
0:06:01	上下と異なる層層の地層として抽出している。
0:06:05	コア写真では青線で示したはW19-03。
0:06:08	と、それよりも下位の上下と異なる層層の地層がないと判断しているThis堆積物がございます。
0:06:15	W19-③ですが、(1)から(3)の下線で引いて、
0:06:20	いるようにそれぞれ供給元、そうそう平面的な分布について、どのように評価しているかわかるようにしてございます。
0:06:28	その中でも重視している供給元の記載は太字としてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:34	そしてそれぞれ左側の柱状図記事もしくはコア写真とひもづけを行って ございます。
0:06:40	供給元においては判断根拠がないものについては下線を引いてござい ません。
0:06:44	文章の最後に括弧Fとしているのは、
0:06:47	先ほどのページ 23 で示した類型化の分類になります。
0:06:52	次ページ以降も同様に修正してございます。また、補足説明資料に掲 載している。
0:06:58	全調査時点の評価根拠、こちら補足説明資料 2 章に記載してるもので すね、同様の修正を行ってございます。
0:07:06	ページ飛びまして 39 ページをお願いいたします。
0:07:14	前回ヒアリングでのご確認を踏まえまして厚い層厚のイベント堆積物が 見られることについて、考察を充実化してございます。
0:07:23	箱書きですが、敷地において認定したイベント堆積物は層厚が最大約 3メートルと厚いものも見られることについて、
0:07:30	既往知見に基づき、調査地域の地形的な特徴等からの考察を加えてお ります。
0:07:37	矢羽根ですが、敷地の調査地点のような、海岸付近では、ヤマダフジノ 2013 によると、
0:07:42	PM2 クラベ津波到来時の、
0:07:44	地形変化が大きいと考えられる。また、狭隘で屈曲した谷地形であるこ とから、
0:07:50	澤井 2012 等によると、津波の局所的な、
0:07:53	流速の変化が大きく、堆積層厚の違いが生じている可能性が考えられ ます。
0:07:59	また、特に、層厚が厚い海岸付近の敷地さんのイベント堆積物につい ては、
0:08:05	私のイベント堆積物とは異なり、改正歴からなっております、このよ うなイベント堆積物は、海岸近くの敷地 3、4、
0:08:12	と、その
0:08:14	二つのみでしか認められないということから、
0:08:17	局所的な地形の影響や、
0:08:19	敷地 3 付近に供給元となるれき浜等が存在した可能性が考えられま す。
0:08:23	うん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:26	さらに次ページにも詳細をつけてございます。40 ページをお願いします。
0:08:33	下の図ですが、敷地 3 敷地 4 の前面には、
0:08:37	基盤の高まり、基盤の高まり日及びその間に狭い谷が認められ、
0:08:43	さらにその前面に概要が広がることから、基盤の高まりを前面に利益幅が存在し、
0:08:49	津波等によって、谷間に沿って生じる曲的な流れによって、ミキアmanoオカ井清力が、敷地 34 のみに運ばれ厚くし、堆積した可能性が推定されます。
0:09:01	42 ページをお願いします。
0:09:08	③津波堆積物調査のボーリングコア写真及び柱状図です、イベント堆積物の評価の
0:09:14	基礎データであるボーリングコア写真と柱状図、これを
0:09:18	両者並べて示してございます。
0:09:21	当初の説明は以上です。
0:09:27	はい規制庁鈴木です。ご説明ありがとうございました。
0:09:35	ちょっと前回のヒアリングが途中で追加資料という形でいろんなそそうそう。
0:09:43	供給元とか成因ですねあとは連続性みたいなところで、
0:09:47	どういう、
0:09:48	何かパターンで、
0:09:51	イベント堆積物かどうかを判断するのかっていうのは、ちょっとわかりやすく、
0:09:56	表でまとめましたっていうのは出てきてましたけども、ちょっとそこに入る前にちょっともう 1 回こういう確認というか微妙に表現を変えてきてるんで、
0:10:06	国をしたいんですけど例えば 9 ページとかですかね。
0:10:11	うん。
0:10:12	これ前回までというかもともと、
0:10:16	前回介護前前回会合の時とかもそうですかね、一応この
0:10:20	大津波起因というところまでどこまで特定Ⅲがあるのかという話をしている、
0:10:25	イベント堆積物高潮洪水土石流なんかも含めますけど、そういうもう何らかのイベントのものが、これは津波堆積物と評価しますと、それ以上

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:36	海起因だとかですね津波起因だっというところを詰めていってもですね、基準適合上の効果というのはあまりないので、
0:10:43	紙だったと思うんですけど。
0:10:45	あまりこう、今回資料上、前回のヒアリング資料条項、イベント堆積物括弧、津波起因とか津波起因である可能性は否定できないので、
0:10:55	やはり津波起因なのかどうかっていうところを、
0:10:59	少し突き詰め
0:11:01	ようというふうに、
0:11:03	見えるんですけど、
0:11:06	この辺りはどういう。
0:11:09	と、何ですかね。
0:11:11	なんかあんまりこって
0:11:14	津波耐津波起因かっていうところを、
0:11:16	突き詰めようとしているのかどうかちゅう
0:11:22	はい。中部電力の久松です。前回タカハシオダとかそういったものも含めるという記載をしていたと思うんですけどそうすると、
0:11:32	タカハシをも、イベント堆積物として抽出しているということで、考えているように誤解を与えたと思うんですけど。
0:11:41	そういった
0:11:42	たものを、判断ができないものを、
0:11:46	今回、今回、今までずっとですけど、そういったものも、中止を抽出しているということで、
0:11:52	その誤解がないようにということで修正したつもりであります。
0:11:58	なので、
0:11:59	今までも、今回もそうですけど、
0:12:02	津波、
0:12:04	海起源かどうか判断できるもの。
0:12:07	と、あと判断できないものに、
0:12:09	陸期限と、
0:12:10	考えられるもの以外は一応抽出をしていますということで今回整理しています。
0:12:17	今までのはその中に、
0:12:19	高潮な
0:12:21	赤潮とか、それ津波以外のものも、
0:12:23	まじり込んでい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:26	まじり込んでしまう。
0:12:28	そういったものも判断できないけど、入ってきてしまってる可能性もあるということで、
0:12:33	含むとしていたん
0:12:35	けど、
0:12:35	そういった高潮も抽出しますという考えだというところが誤解があったかな、誤解を与えたかなということで、
0:12:45	その辺りを修正しているつもりでございます。
0:12:51	ちょっと待ってくださいねそうすると何当然イベントっていうと高潮洪水土石流って言われますけど、
0:13:00	何か積極的にこれタカハシを探しに行くとか、土石流を探しに行くとか、そういうところまではやっていませんと。
0:13:07	何らかのイベントがあったときに、
0:13:11	何て言ったらいいんだろうな。
0:13:15	あれは、そういうのを積極的に全部探しに行っちゃはしませんと。
0:13:19	いう指示ですね。一方ただいまの書き方だと、
0:13:24	ただ、高潮だったり土石流だったりコウズイみたいな別のイベントがまじっているのは、それは往々にしてありえますよと。
0:13:31	その理由で、可能性があるという
0:13:34	ていうところは残ってるわけですね。そういうふうになってるのかな。すみません中部電力の尾川です。基本的には、前回から大きな考え方ってのは書いてないっていうことな、
0:13:46	なんですけども、23 ページ。
0:13:48	のところに、
0:13:50	考え方をちょっと整理をさせていただいてまして。
0:13:54	供給系のところを見ていただくと、海岸付近を供給元とする、碎屑物を含むっていうものとともにですね、船員が
0:14:04	崩れ植生河成注入こういったものが判断できないもの、こういったものも供給元が介護保険である可能性が否定できないものは見ますということで、
0:14:14	こういう考え方で、改めてちょっと再整理をしたっていうところで、特に今鈴木さんが気にしてるような観点では、書いてない。
0:14:23	考え方は書いてないと。
0:14:30	ちょっと少なくともね積極的に津波金を取りにいってるっていうところはあんまり誤解されないように書いた方がいいと思いますけどね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:38	なんで、別に注釈でも何でもいいんですけど、注釈だとちょっと小さいかもしれないんですけど、
0:14:44	当然その土石流とか洪水とか別のイベントのものも当然、
0:14:49	含まれていますよと。
0:14:52	実際多分そうですよね。
0:14:55	補足的によろしいですか。中部電力の久松です。
0:14:59	おっしゃる通りで、
0:15:01	そういったものも含まれるということなんですけど。
0:15:04	逆に保守的にですね、陸、陸の可能性、今言った、尾川が言った成因として、陸のものであるという説明ができるようなもの。
0:15:14	確認ができるようなもの以外については、わからないものとして、
0:15:21	供給元文、
0:15:23	海起源だということが確認できないものについては保守的に、
0:15:27	抽出してイベントとして認定してますということで、
0:15:31	その
0:15:33	保守的にはな保守的というか、
0:15:35	保守的にはなっていると考えています。
0:15:39	電力浜野でございます。すいませんちょっと多分説明が長いんですけど、23 ページで書いてある。
0:15:45	先ほど尾川が説明した通りで、当イベント堆積物括弧津波起因であると判断できる、または、高潮洪水土石流等津波以外の要因も考えられるが津波起因である可能性を否定できない堆積物と書いてますこの、
0:16:01	後者。
0:16:02	が基本で積極的に津波た起因であると判断できるのを、以前から取りに行ってるわけではないのでちょっと誤解があるので、この辺は表現を、
0:16:14	今まで通りというかですねこの今のタカハシを、
0:16:18	洪水土石流等津波以外にも考えられるっていうのも、ちゃんとは入ってるというところわかるようにしたいと思います。判断指標を過去から何も変えてはいなくて、
0:16:30	もう明らかに陸っていうところをオミットしたそれ以外の、
0:16:34	象限は全部、
0:16:36	イベント堆積物と認定しているという考え方は、いささかも変えてございません。
0:16:45	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:47	そうした時に仲田榎尾とか、
0:16:50	なんかそういうものって、
0:16:51	瞬時に見分けつくん。
0:16:54	つかないですよ。
0:16:56	いや、だから何か、そこまで何か
0:16:59	アカシみたいなのとか、
0:17:01	陸のタカハシワダから多分無理なんでしょうね、このレベルの今多分検討だと。
0:17:07	ちょっと陸性のイベントっていうところちょっとどこまで簡単に
0:17:12	コミットできるのかっていうところありますけど考え方としては、別に
0:17:17	書いてない。
0:17:18	ね。
0:17:19	はい。
0:17:22	にですね。
0:17:24	ちょっとこう、
0:17:26	資料上、13 ページにこのフローチャートという形で、
0:17:31	多分ボーリングコアの前室をまず取りましたと。
0:17:35	これ多分二段階あるんじゃないかと思うんですけど、上下と異なる。
0:17:39	相双の地層、
0:17:42	D、ボーリングコアによって多分これその時点で、上下と地層と異なる層層の地層がありませんでしたってコアがあるはずなんですけど。
0:17:51	資料、本編も含めてなんですけど、見ていくと、
0:17:54	ほとんど何かこの上下の地層と異なる地層層の地層の認定と、
0:18:00	それをイベント堆積物を認定するかが、
0:18:03	何かまとまっ。
0:18:05	同じ中で、
0:18:07	後ろのですね 30 何ページとかっていうところで説明されている。
0:18:12	ようにもですね。
0:18:15	実際多分、
0:18:17	そうなんでしょうね、どこ行ったかな。
0:18:19	上下の。
0:18:22	例えば、
0:18:24	34 ページとか 35 ページなんかは、
0:18:27	これ一番上は、上下の地層と異なるす。
0:18:31	製造認められないで次が多分それはあるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	これは基盤の再堆積崩れですみたいになってるんですけど、
0:18:40	この入口上下の地層と異なる。
0:18:44	そうそう地層これを認定するというか、しているというか選別するっていう、
0:18:50	ところの考え方が、
0:18:52	これコメント回答の、
0:18:54	中には、今入ってますかね、何かその先の、
0:18:59	さらにそれをイベント堆積物するかどうかのところは、確かに、23トンと確認しますが、23 ページからですね、あるんですけど、
0:19:09	基本的に多分イベント堆積物を探しに、津波堆積物の候補になるんですよ、イベント堆積物を探しに行くっていうのは普通のやり方で、
0:19:19	その時に甲斐の地層と上位の地層と平常時堆積物と、
0:19:24	一応そういうものの情報を取得するっていうの多分スタートだと思うんですけど、
0:19:29	今日、これまで、
0:19:31	口頭で聞いている限りでいうと基本は基盤があってそのあとに、この辺りはずっと提出堆積物なんですかね。
0:19:37	あって、一番上には風生砂層があるっていう、
0:19:41	なあ基本で、その中に、
0:19:44	そのベース堆積物だったり不正断層の中に、上下と異なる操作の、そうそう。
0:19:49	これは観察結果からですよ見た目ですよ。
0:19:52	異なるものがあれば一旦それは拾うんですよ。それは単なる腐食、
0:19:56	いつのベースであれ、
0:19:58	ていうところが中であまり出てきてなくて、
0:20:02	それによって物によっては多分、コミットされるやつがあるんですよ。
0:20:10	中部電力志村でございます。はい。衛藤。今鈴木さんがおっしゃった通りで本編資料の中にはご説明をしているんですが、
0:20:19	ちょっとまず、
0:20:25	分娩資料の、
0:20:34	45 ページの方お願いします。
0:20:42	はい。衛藤。
0:20:44	上の箱書きなんですけどボーリング調査を実施して、
0:20:47	採取した試料の観察によって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:59	ボーリング調査を実施して採取した試料の観察により、0 堆積物及び布施砂層中の上下と上下の地層と異なる層の地層でここで括弧書きで、 そういう定義を書いておりますが、
0:21:11	佐伯着履歴等の購入や腐食等の教材、そういった部分を抽出して、
0:21:17	堆積物に見られる特徴を考慮してイベント堆積物を認定し、
0:21:22	いうことで
0:21:24	やってる手順としてはこういうことをやってございます。今回ちょっとコメント回答としては経緯、
0:21:31	コメントの経緯としてイベント堆積物の
0:21:36	分布上限周辺のデイズ堆積物に、イベント堆積物がないとした根拠を示して欲しいと
0:21:43	いうコメントいただいておりますにさらにそのあと、石渡先生が、
0:21:47	敷地
0:21:49	東側のはなCなんで
0:21:53	コメント回答資料でいくと、31 ページを
0:21:58	シマ
0:22:00	左側にちょっと密集して見づらいんですけどちい敷地中という、
0:22:06	他よりも基盤の高いものがある。
0:22:09	こういったところ、ここもそもそも上下の地層と異なる層の地層がない。
0:22:15	所。
0:22:16	けど、そういったところ、
0:22:18	もう会費特に手形。
0:22:20	届けというかっていう観点で、説明して欲しいという、
0:22:24	ことを、
0:22:24	いただいていたために少し、
0:22:27	区分けをせ
0:22:28	ベース堆積物というくりで、
0:22:31	説明を記載して
0:22:34	なので今お話にあった通り、前回の会合のところで、引地の高いところに提出堆積物が、
0:22:41	確認されているのではそこは正しく拾って、その認識を正しく拾ってるんですけど、
0:22:47	八尋アノそこを忘れてはいないというところはわかります
0:22:50	なんですけど、
0:22:52	結局最後中間まとめ 25、コメント回答の 25 ページとかこの辺にいくと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:58	多分もう敷地中ってどこにも、
0:23:01	出てこない。
0:23:02	ですよ。
0:23:04	そういう敷地中みたいなものにも触れなきゃいけないと思って触れてるってというのはそれは結構なんですけど、ただそれが、
0:23:13	御社の交付手順上ですよ。作りの手順上、別の段階のものがガサッとまとめて入っているので、
0:23:23	あれ引地中とあれ最後どこ行ったんだけど、これなんかあれ、手順としてフローと違うよねっていうところが、2 なんですよ今切ってるのは、
0:23:31	本編の 45 ページっていうのは、これも大半はこれイベント堆積物と認定するかどうかの、
0:23:37	話で今おっしゃったような、
0:23:39	まず、
0:23:41	その候補になるような、
0:23:42	上下動、通常の堆積物と、
0:23:45	常時の堆積物と異なる早々のもの。
0:23:49	っていうのも多分この一行だけですよね。実際多分これ以上のものもないんだと思うんですけど。
0:23:55	どうですかね。
0:23:57	今ではあの子混在しているのは、
0:24:00	ありましたけど、
0:24:01	そもそももうイベント堆積物の候補になるような上下と異なるものがないっていうのは、
0:24:08	もっとね今ねえ。
0:24:11	面とか移動で幾つか例示はされていって最終結果に、
0:24:16	取りスキームですね判断今度が全体まとめ表とか、
0:24:20	出てくるんですけどね。
0:24:24	わかりやすくないものか。中部電力の久松ですー17。
0:24:31	本編資料の 47 ページに、すべて今回検討した、
0:24:37	イベント、イベントといいますか抽出したものをすべて挙げておりますが、これが
0:24:43	すべてになっております。左側が赤、
0:24:47	赤色でイベント堆積物としている表がイベント最終的に判断としてイベントになったもの。
0:24:53	あと右側 3 列が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:56	上下違う地層としてピックアップしたものについて、検討した結果イベントではないとは判断したのになりますので、抽出したものという意味での整理ではここですべて
0:25:09	上がっております。
0:25:11	で、
0:25:12	この、ここに上がっているものが、補足説明資料の2章に、
0:25:17	その根拠についてはすべて記載しておると整理になっております
0:25:27	中で、久松です。それで、その中に、今回、上下の抽出、この整理としては、上下違う。
0:25:38	地層としてピックアップされたものを整理しているということで、その
0:25:43	標高の高いところで、D層があるとしているところで、説明加えたものについてはここには入っておりませんので、補足説明資料、
0:25:54	今回加えたものについて、
0:25:57	は、
0:25:58	ここに加えることは、
0:26:01	考えたいと思います。
0:26:06	中部電力の小川です。
0:26:08	コメント回答資料13ページのところ、先ほど鈴木さんの方からもお話ありましたけれども、認定のフローとしては、
0:26:17	上下の地層と異なる層層の地層をやっばり見た上で、そこから次に、イベント堆積物かどうかということを確認していくというやり方をやりますので、
0:26:27	先ほど言われた敷地の中っていうものは、この上下の地層と異なる早々には当たらないというところで、それ以外の扱いとして、念のためそれも確認。
0:26:37	してるってということになります。ちょっとそれが今ちょっとフローの中では、見えてないということになっているのかなと思いますので、ちょっとその辺を見えるような形にさせていただくなどちょっと考えたいと思います
0:26:51	はい。規制庁佐口です。今ですね小河さんの方からも、
0:26:56	ご回答というのかですね、あったようにですね。
0:26:59	我々の趣旨はですね、
0:27:02	これまでの会合でも結構
0:27:05	何度も繰り返しのようによく言ってるかもしれないんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:08	結構ですねブラックボックスになってる部分があつてですね、特にこのフローでいうと、多分 13 ページのフローでいうとまさにこの場への地層と異なる値の想像も、
0:27:19	地層という、そのの、
0:27:21	選別のところが今、資料上、
0:27:26	見えなくなっていて、多分これって、
0:27:29	この一覧表。
0:27:31	出てくる、そのコメント回答の 25 ページとかですよね。これって最終的にある程度このイベントを堆積物、
0:27:41	ポイポイって言ったら変ですけどね。そそういうものがある中で最終的にこれをイベント堆積物これは、そうじゃないですよと。
0:27:52	いう結果が示されていて、そういう最終結果に至るところの過程が、ちょっと今の資料ではなかなかわからなくなっているというのが、
0:28:04	ところで例えば、
0:28:06	昨年の 6 月かな、農なんか介護の資料では、
0:28:10	今の
0:28:13	コメント回答の資料の 25 ページの一覧表以外のものも、実は、
0:28:20	一覧表としてですね。
0:28:22	これ例えばCN-Sとかそういう分析の検討のものもあったと思うんですけどそういうところにですね、
0:28:30	出ていて、結局それで、じゃあ何でイベント堆積物じゃない。
0:28:36	ていう判断したかっていう、まず第一段階に、その上下の地層と異なるとか異ならないとか、そういうのもあったと思うのでやっぱりそこは、
0:28:46	全体のフローと、
0:28:48	御社が実際にされている検討、それが対応を、
0:28:53	つくような形で、
0:28:56	ある意味さ、最終的な
0:28:58	なんていうんすかね。御社がこういう、
0:29:00	検討に基づいてこういう選別をしてこういう判断をしてというのがきっちりわかるような形で、
0:29:07	示していただくと。
0:29:10	最終的にはわかりやすいっていうのと、その過程のところはどういう判断でそれをどういう根拠で判断をしたのかというのを、
0:29:21	まずやっぱりわかりやすくしていただきたいと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:24	というのが1点と、当然ながらそのコメント回答という趣旨に合わせて、いくつか例示でこちらから出した部分もありますのでその部分については特にこういう、
0:29:35	根拠でこう判断していますと。
0:29:38	いう回答が、
0:29:39	今の資料で本当に見えるかなと。
0:29:43	いう趣旨で、これ、確認させていただいてもいただいたので、
0:29:48	そこは
0:29:49	わかりやすくですね、資料としてまとめていただければと思いますんで、よろしくお願ひしま
0:29:58	医師いたしました。
0:30:11	はい、よろしいですかね。何か質問あります。
0:30:15	よろしいですか。
0:30:16	多分ボーリングコア全部理屈だとか敷地だと20、
0:30:21	4本あるんですかね、多分これの全地層を見ました。
0:30:24	その中に上下の必要と異なる層層の地層があるそもそもコアとない子があって、あるコアについては、多分19-02とか10、14だとゴール⑤⑥⑦と、
0:30:37	多分3ヶ所場への
0:30:38	異なるものがあります。それをさらに、
0:30:42	何だ、
0:30:44	整理して、
0:30:46	そのイベント堆積物かどうかを判断していくと、コメント回答の25ページの表がまとまりますって多分そういうことだと。
0:30:53	フローチャートのどの場所の説明をしているのかとか、この場所についてはこういう書き方だったっていうのは、
0:30:58	どこに、
0:31:00	記載するのかっていうのありますけど、ただ今回はどちらかというとその観察結果例。
0:31:06	ある程度こうまとめている3、29ページ30ページとかですかね、こんなところもあるので、それまでちょっとイベント上下と異なるものっていうので別ページに分けてしまうのか、
0:31:18	こういう観察結果のものをまとめた方が説明しやすいのかっていうのはあるかと思うんですけど。
0:31:24	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:26	その上でですね。
0:31:32	ちょっと今、コメント回答だと、14 ページ他に何回か出てくるのかな。
0:31:38	20、
0:31:39	3 ページも同じすみません、表があるので、
0:31:43	これー、前回のヒアリングだと、何かこのアルファベットでaからhまでありますけど、
0:31:49	BとかCみたいなものも、何かこれは、
0:31:53	イベント堆積物を認定するんです。ただし今回の調査では該当なしみたいな、区分だったと思うんですけど、
0:32:00	結局これは最後、
0:32:02	(1)(2)(3)すべてアンド条件三つとも該当すると。
0:32:09	イベント堆積物にしている、
0:32:11	PCBみたいなものは、
0:32:14	ちょっと試料分析等の政策で今回は該当はないものの、こういったものを試料分析等の精査によりっていうと、
0:32:23	これは何かあれですかね、どういう、どういうものを想定。
0:32:27	ているのかというか、何か保守的にイベント堆積物にするんだったらな、何かあえてこうこういうものを、
0:32:33	イベント堆積物にしない可能性があるっていう、
0:32:36	かなり限られたものをイベント堆積物にしますというような、ちょっと表にですね。
0:32:41	こういった見ようによっては見えるんですけど、
0:32:45	何かこう、御社のフローチャートっていうか手順上、これって、
0:32:50	何かたまたま該当がなかったんかもしれないけどこういうようなBCDみたいに該当するものがあると何か試料分析をして時間をかけて何かやるってというような、
0:32:59	そういう手順なんですかね。
0:33:03	中部電力西村でございます。藤。
0:33:06	今、としているところを全部ありとなっているところなんですけど、
0:33:11	今回、判定基準の方を整理しております
0:33:16	その表中の上の方に開催、記載してるところで、
0:33:20	太字と普通の文字で記載してございますが、普通の文字で記載してる方が一般的な
0:33:26	津波堆積物の特徴に基づく

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:28	としてまず挙げております。それに対して、我々が保守的に考慮するものとして太字に、
0:33:35	記載してございまして、
0:33:38	基本的に、かなり幅広い評価をしているため、
0:33:44	これがすべてありとなっている。
0:33:47	もの以外について、
0:33:49	は、
0:33:50	かなりイレギュラーとかはいとレアケースみたいなものだと考えていて、
0:33:55	こういう、こういうものまでさすがに、津波、
0:33:59	と考えるかという。
0:34:01	と。
0:34:02	ちょっと疑問。
0:34:04	の部分もございまして、そこについては資料分析等で精査。
0:34:08	するという。
0:34:09	ことを今
0:34:10	いうか、
0:34:11	それって精査するというのを考えて、
0:34:17	ちょっと、
0:34:18	この辺りがこのですね供給元とか、そうそうとか平面的な分布、
0:34:23	このところで、一般的なやり方よりも少し保守的に拾うんですよっていうのは、下んですけど1個1個はね、
0:34:31	ただ、
0:34:31	それを総合的に見るときに、
0:34:34	三つとも該当しないと。
0:34:36	認定しません。
0:34:39	ということになると、
0:34:41	でも括弧供給園とかあんまりよくわかんなかったときに、括弧2とかで押し引き構造がしっかりあるけれども他の該当しないとこれはじゃあ認定しませんなのか。
0:34:51	ていうようにもこれ見えるんですよ。
0:34:54	実際に、
0:34:56	そこまでこの(1)(2)特に(1)とか(2)を綺麗に区切って、何か見ているのかと思ってですね。
0:35:04	次の24ページ見ると、
0:35:08	これ何か職制のところとかですね、見ると職制でどう判断しますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:14	藤奥津をシルト層と判断できる。
0:35:18	その時に判断どうしてますかっていうと右を見ると、
0:35:21	何か腐食、
0:35:22	いっこミイ1-2とか腐植質シルト層、
0:35:26	基底や堆積構造に乱れがないって何かこれも宗層の話が何か、
0:35:31	セットで、
0:35:33	何かこう見て、
0:35:34	決めているように見えたですよ。腐植層はあるんだけどこれ基底面、
0:35:39	乱れはあくまでこれ傾斜してるっていう程度なんで、これは、
0:35:45	(1)では該当しませんよっていうなんかそう見えるんですけど、
0:35:50	何かある程度こういうところも
0:35:53	相双の観察結果とかも、
0:35:56	早々に構造見られた削り込みとかっていうパターンの中どれに該当するかを少し見ながら、
0:36:03	何かこの植生とかで判断しているように、
0:36:06	見えるんですけど、
0:36:08	この辺りはどうなんですか。
0:36:12	渋谷国島でございます。
0:36:14	植生のここについては
0:36:19	規定や堆積構造の乱れがない。
0:36:21	下で判断しているということを説明したかったわけでは
0:36:26	清野。
0:36:27	と考えられる成因。
0:36:29	の中でも、早々に、
0:36:32	オクセンナのアリタ
0:36:34	が、
0:36:36	前回、
0:36:39	職制でもそうソウノ乱れがあると
0:36:42	は、
0:36:45	ツチャ、
0:36:47	いろんな事例の
0:36:51	誤解招くよ。
0:36:53	ので少しそこら辺は、
0:37:01	チーム電力のものですちょっとにまず23ページのところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:07	事実としてご説明させていただきたいんですけど、このABCDEFGHというふうに分けた上で認定のところ書いてますこれは、西村がご説明した通りで、
0:37:19	上の段の判定基準一般的に津波堆積物をやるとすると、こういうカテゴリーになりますと、
0:37:26	いうものを分類しております。で、今回、それに加えて我々として、さらに保守的に考慮するものを太字で判定基準に加えさせていただいてると。
0:37:38	いう結果としまして、例えば、BとかCとかDにある
0:37:44	なしっていう黒いのとかありっていう、赤いところが要は赤寄りにこれで寄せてますので、全部、上の赤にそろってイベント、
0:37:55	堆積物と認定してますよってということです。具体、実際のところ
0:38:02	一般的な判定でいけば、それぞれBCDのカテゴリに来たものは、
0:38:08	さらなる調査をして評価をしていくものではないかというのが右に書いてあるところですが我々としては赤寄りにしているので、実際のところはこの該当はないという意味を記載させていただいてると。
0:38:22	いう表ですちょっとここも、その二重に重なっちゃってるところがあるんです。もう少し、
0:38:29	趣旨を読めるようにはしたいと思うんですけど。
0:38:33	すべて赤川に、
0:38:35	認定してるというところから結局、全部Aに寄っちゃってますというのが結果になってます。で、
0:38:43	先ほどの植生の話なんかも当然、鈴木さんおっしゃられた通り、局限だけを見てるわけじゃないんです。それは総合的に全部見た上で整理しますがそれを結果的に赤川に寄せて、李側に寄せてるっていう、そういう表に、
0:38:58	なっております。
0:39:05	ちょっとね僕もこれずっと
0:39:06	気になってたんですけど谷ですけど。
0:39:09	あれですよ。23 ページで保守的な判定基準って言うのがこの表のこの黒の
0:39:17	黒黒の太字の部分で、保守的な判定基準というのをしてるんだ。
0:39:21	ただ、
0:39:24	判定基準って、もう1個何かブレイク直したものが欲しい気がするんですけど、この成因をどう判定。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:32	してるんですかっていうのがよくわかんないですよ。崩れてというのは、どういう判定基準で崩れにしてるんですかって、職制ってどんな判定基準で崩れてしてるんですか。
0:39:44	それをさっき鈴木さん確認したらひょっとしたらこういうことも見て、判定基準にしてるのかなとかいう質問だったと思うんですけど、その
0:39:54	このね、24 ページ。
0:39:56	検討結果とかって書いてるけど、これをどう区分していくかっていうのはどこどこに説明があるんですか。
0:40:07	中部電力西村でございます
0:40:08	今、どう区分していくかという説明は資料にはないんですが、
0:40:14	考えとしては、
0:40:17	陸マリック期限で、説明できるもの。
0:40:21	であれば、
0:40:24	ミキ以外のものと判断できると。
0:40:27	で、
0:40:28	そういった中でもう
0:40:30	津波によって流されてきたような
0:40:33	例えば泥岩の崩れでも泥岩、円礫みたいなものがあれば、それは津波によって流された可能性もあるとして、実際その
0:40:41	相良ソウノ谷地形の
0:40:44	崩れみたいな
0:40:45	かなり頻繁に
0:40:47	けど、
0:40:47	そういったものの中にも、
0:40:50	セキみたいなものがあれば、
0:40:52	崩れとは
0:40:58	一番大事な部分だと思うんですよ。
0:41:00	何をもって、この
0:41:02	戸田だってこれあれでしょう、御社の説明でいうと、供給県がこの
0:41:08	海岸、
0:41:10	じゃなければね、海岸付近の給源供給元としない。
0:41:15	もの。
0:41:17	ていうのがわかれば、もうこれイベント堆積物じゃないんだよっていう、
0:41:21	話の中一番最初の大事な部分なのに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:24	その判断基準が、僕はこれをよく見見てもよくわからないっていうのをすごく感じるんですよね。
0:41:33	何かあるはずですよ、判断する。
0:41:37	崩れっていうのは、こういう特徴が見られたら崩れなんです。直接っていうのは、こういう特徴があるのを認定して、職制だと判断してるっていうのが、
0:41:47	その辺のところ、
0:41:50	整理してもらえたらなっていうのを、まず思いました。
0:41:56	承知しました。
0:41:58	今この種も、24 ページだけ見たらね職制のところ例えば 1000、
0:42:03	説明してるのは、
0:42:06	風生砂層中に狭在するデンシツそうであり、
0:42:10	あり、これが多分何か理由なのかな。布施砂層中にある提出層は、
0:42:16	こういうものだと判断されるって、もう決めつけてますよね。
0:42:22	何戸。
0:42:23	風生層中にあるような演出層はもう
0:42:27	何かそもそも見なくていいっていう。
0:42:30	考えなのとか、これ見ても何かよくわからなく
0:42:34	て、
0:42:35	こういう特徴があるから津波堆積物のようなものじゃないっていう部分 がですね。
0:42:42	わからない。
0:42:43	で、もう 1 個なんか僕思うんですけど
0:42:47	あまりイメージできないですよこの、例えばここって。
0:42:51	崩れとか言ってるのは、
0:42:55	注関井の
0:42:57	淡水性の集積なんですかね、ねん。
0:43:00	提出の地層の中に、
0:43:04	いきなりこう崩れてきているようなものが中セキである。
0:43:09	沖積の中に、そので低地の堆積物で、何かその辺が僕はあまりイメ ジできてなくて、
0:43:16	こういう特徴だからこういうこう、
0:43:21	基盤がん等の再堆積＝崩れっていうのも何かよくわかんないんすけ ど。
0:43:25	何かイメージできるような説明があったらわかるかなという話。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:30	あと、2 番目の職制っていうのも、
0:43:35	風生さんの中に植生ができたっていう説明ですよ。
0:43:41	あれなんかそんなんだったら、普通に何か根っこかね。
0:43:45	パツパとかね。
0:43:46	残りそうな気がするんだけど、そういうものとは違うんですかこれとかいうのが、何か。
0:43:53	見ててね。
0:43:55	ぴんときてないから、これは現地で見さしてもらおうかなと思ってるところなんですけど。
0:44:01	何か今の説明では、
0:44:03	この区分でいいのかっていうのが、ちょっと資料上見てとれないですねって思いました。
0:44:10	渋谷フジシマです承知いたしましたそこら辺、わかりやすくはなるようにいたします。
0:44:15	で、まず最初に崩れの話、本当にその沖積の中にこんな崩れが入ってくるような環境なのかというところは、
0:44:22	衛藤。
0:44:25	コウ面と回答集 26、
0:44:29	ページで、
0:44:30	こういった、
0:44:32	谷地形の中で調査してることもございましてええと、頻繁には入ってきていて、いろんなコアを掘って、僕らもそうそう見てるんですけど、やっぱり
0:44:42	こう小さい。
0:44:43	やつであれば、
0:44:44	ポロポロとずっと慢性的に入って
0:44:47	たので、
0:44:48	そういうのは、起きやすい環境だったのかなというのは、はい。
0:44:54	はい。
0:44:55	で、もう一つ、
0:44:59	職制か職制については、
0:45:01	説明書になって、
0:45:03	ますが、
0:45:04	100、
0:45:05	50 ページから、衛藤。
0:45:09	浜岡の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:10	うん。
0:45:10	9の職制については、
0:45:17	はい。すみません。はい。そう。
0:45:23	あたりです。はい。考えてることの事実確認は、
0:45:27	シマ
0:45:28	でね、ちょっと話が戻るんですけどもさっきの上下とこう違う堆積物はこう説明していくんだっていう話なんだけれども、
0:45:38	何かやっぱりねここが、
0:45:40	よくわかんないのでちょっと事例を挙げて言うと補足説明資料のね。
0:45:48	98ページとかって、
0:45:53	何か見ていくとね。
0:45:58	中部電力は砂、砂ぼつき、礫層って書いてるところがずっと1000聞いてあって、
0:46:06	18メートルぐらいのところにれきがいっぱいあるじゃないですか。
0:46:10	これは何でこう上下と違う地層になんないんですか。なんか僕あの上下と違う地層っていうのは、
0:46:18	何か地層の中にある波佐見層みたいなものはすべからく1回拾って、その浅見層みたいなものが何なのかを説明していくっていうような説明の順番だと思うんですけど。
0:46:29	何かそれをコウ資料で見っていくとあれなんか。
0:46:33	そもそもこのゴソウみたいな、
0:46:36	もう、
0:46:37	こっから津波堆積物を抽出するのが不可能なやり方をしてんじゃないのかなっていうちょっと疑問が湧いて、今のような質問をしてるんだけど、この辺の考え方ってどう、どういう考え方なんで、
0:46:53	はい、中部電力の久松です。式、佐川4ということですけど90ページ見ていただきますと、
0:47:03	断面図があるんですが、
0:47:06	今おっしゃられたようなところ一標高ディックとー7メートルとかその辺りのところにして、もうその上に、外浜前浜等あるところですので、
0:47:19	津波堆積物の調査という意味では、ちょっとここは
0:47:25	精査はしていないといいますか、あまり対象としては考えておりません。
0:47:31	実際
0:47:32	前浜なり、後浜の堆積物だとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:36	になってきますのでちょっと津波対し、ここの標高も踏まえて、津波堆積物という調査の意味では、
0:47:45	主
0:47:47	詳細な検討はしてないところになります。
0:48:04	いや、何かねいろいろ考えがあって、
0:48:07	あるんだっていうのは、背景にあるのであればやっぱりそれわかるような資料にしてもらわないと。
0:48:17	あれ言ってることがコウ。
0:48:19	何か合っていないとか、多分現地に行って何でこれはこういうふうに、
0:48:24	こう拾われないんですかとか、そんな話にきつとなってしまうと思って。
0:48:30	今、関係があるんだったら確認しようかなと思って。
0:48:34	いうところで、
0:48:35	種市層の上下の違いっていうのは言葉にすればその通りなんでしょうけど、
0:48:41	何か違ってそうに見えるけど実は拾っていないっていうようなところがちょこちょこ見てあって、
0:48:48	その辺のところは何か、
0:48:50	事前によく
0:48:52	整理しておいて欲しいなというところで、今ここで議論してもね、
0:48:57	しょうがないのでちょっと、
0:49:00	こんなことを感じましたということでお伝えしとき、
0:49:10	はい。規制庁鈴木ですけども、再びコメント回答の 24 ページに戻って今崩れとか、
0:49:16	チョクセイとかね、こういうのがあったんですけど、
0:49:19	次のこの
0:49:20	加瀬先生の、
0:49:22	確かに融度がなくて淘汰が悪い砂礫であれば、
0:49:29	海にたまるというのは河川にたまっているものなんでしょうねとそこまではわかるんですけど、
0:49:36	何ですかねこういうのが何かこう何らかのイベントがあっ。
0:49:39	これが供給元になったときに、津波、
0:49:43	が来て例えば河川のものもですねひっくるめて、上から運んできたものも河川からホデキタノ。
0:49:49	田丸。
0:49:50	他にそれでまた田丸って言った時に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:54	これは孟母もっぱら
0:49:57	円礫が入らないような、
0:49:59	ものであれば、
0:50:01	それは津波堆積物としてオミットされるっていうのが一般的なんです、 一方で、
0:50:06	ある程度コウ円礫みたいなものまでまじって、結局海から運ばれてきた ものと、陸で拾い上げたものも、
0:50:13	まじったような場合は、津波堆積物っていうものもあり、また、
0:50:18	タカハシだったり津波堆積物みたいのものもあるけれども、
0:50:22	もっぱらこういう。
0:50:24	カセ素の供給元アカセみたいなものを、
0:50:27	だけの場合はこれは津波堆積物としては
0:50:30	認定しないというかともそれだけだったらさすがに海から運ばれてきた ものが全くなくて、イクノだけだったらありえないでしょっていう、これは そういう一般的な認定の仕方なんですか。
0:50:47	いや津波堆積物なんで海から運ばれてきたものしか堆積しませんって ことでもないはずですよ。
0:50:54	前、
0:50:55	陸で拾い上げて、かなり巨大な津波であればそういうものもあるんだと 思いますけど、
0:51:00	はい。中部電力の久松です。2、補足説明資料 23 ページで
0:51:06	判断した根拠を整理しておりますが一般的というか
0:51:11	文献等で一般的に判断され、
0:51:16	遅くせ、補足の 23、ごめんなさい。今。
0:51:20	コメント回答資料。
0:51:25	コメント回答資料ですいません。
0:51:27	はい。23 ページでイベントがないと判断した根拠ということ。
0:51:32	整理しておりますが一般的な、
0:51:35	考え方としてはこの判定基準で書いておりますが細かい字で書いてある ようなものが、すべて特徴としては見られるということですので、
0:51:48	数それぞれがすべて見られると、いうことで、海からの供給分、
0:51:57	供給元とするものも、やっぱりある程度は含まれてきますし陸側からも 連続しているということ、
0:52:04	イが一般的だとは思いますがその中で我々の方では、そういうものが 否定できないというものも含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:14	評価しているということで、一般的ということと比べるとすると、ある程度
0:52:21	保守的なのというか、安全側の評価になってるとは思います。
0:52:25	考えております。
0:52:30	中部電力西村ですすみません、補足。
0:52:33	で、少し、
0:52:35	説明を追加させてもらいますと。
0:52:38	補足説明資料の 177 ページお願いいたします。こちら、
0:52:44	猪野側の 6000 年、約 6000 年前ぐらいの時の堆積環境を、
0:52:50	調べたものになりまして、新居野川市に今、河川の
0:52:54	生態セキを使って
0:52:56	ところについては、
0:52:57	氷河期以降に改善が上昇して、ヤマナカしてそのあと、河口部に形成された水、下でいうと黄色でハッチングしてるところです。
0:53:07	そこがせきとめられまして約 6000 年前には 2 類型と呼ばれるような域になって
0:53:13	ことが知られています。なのでこういった
0:53:17	堆積環境を考えると、
0:53:18	津波を考えたときに、津波が来ることを考えたときに、
0:53:23	じゃあ絶対、河川だけかっていうと、逆にそちらの方が考えにくいだろうということも、
0:53:30	してなので、
0:53:32	2-1 についてというのは、
0:53:35	理経でイメージとかでも調べて河成性だということを判断しているところでございますので、そういったことも含めて、やっぱりミナガワ 12 というのは、
0:53:45	どうか。
0:53:55	中部電力の盛です考えてることはこのようなことで
0:54:00	先ほど植生崩れの件もそうなんでちょっと背景みたいなところも含めて判断してる背景というか調査地点、
0:54:08	を含めて判断するところがちょっとございます。で、河成性のところ、河川でないところに当然河川性のものがあつたら、どっからきたんだろうと思うんですけどもそもそもこのカセ様判断は新野側の判断の中で、
0:54:21	かつ当時を考える時があつたりとかいうようなところ体制環境が、そのようになっているのであるのが普通だというふうに我々判断しているというところ。ちょっとそれが今の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:32	コメント回答資料 24 ページのところ、堆積環境とか解体、堆積構造みたいなのところちょっと書いてないというところ、あとは、どういう状況かっていうのちょっとわかりやすいのは何かがあった方がいいんじゃないかというところもちょっと今、
0:54:44	議論の中では持っておりますのでもう少しわかりやすくはなるように考えたいなというふうに思っています。以上です。
0:54:54	中部でね買うものでございます。ちょっと対課で、
0:55:00	ご説明さして欲しいんですが、6 ページ、補足説明資料の 6 ページに、
0:55:05	元、そもそも論として一番最初に記載されていたコメント回答資料の 6 ページですかね。
0:55:15	我々としてましてやっぱり歴史記録に関わる調査、
0:55:19	という、この演習等全体を主見みておりますまた、あわせて、津波堆積物に関する文献調査も見ている
0:55:30	遠州灘って広い広がりの中、
0:55:33	大体これぐらいだっという規模感を当然掴んだ上で、それでも見逃しをなくすためにこのサイト周辺でも、津波堆積物を
0:55:45	調査を実施したという、根幹がありますので先ほど来ちょっとご説明しているところが読みにくくなってしまって、どうしても細かい方に、
0:55:55	言っちゃってたんですけど新野側の状況であったり、
0:56:01	当然深いところ箴川の深いところっていうのは、そこだけものすごく大きな津波が来るなんてことは津波という辞書からはありえない。
0:56:11	ていうところも踏まえた上で、見ますと、そういう中においてどうしても 13 ページのフローがそのあたりが見えなくて、
0:56:22	淡々とこう一般的にやったように見えてしまうところが、
0:56:27	読みにくいなと思うんで、もう少しアレンジをしっかりと自分たちの土地でありこのあたりの環境をしっかりと見極めた上でこういう方針っていうのを、
0:56:38	13 のフローから、その後ろの方も、ちょっとそこが読み取れるようにしたいと思いますんで、最終的に供給元を見に行ってますが当然その前の与条件としては、
0:56:49	どういうものかっていうのを考慮した上でやってるのでそこを読めるように、工夫したいと思います。
0:56:57	規制庁数ケース。はい。多分そもそもあるべき通常の堆積物があるはずなので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:05	その上で、そこに何か別の異質なものがあればというのが多分前提があると思うんですけど。
0:57:11	そのあたりは多分表とかだと地層の成因、もともと、そもそもあった地層の成因と、
0:57:17	ここに新しく何か挟まって変なもん、何か違うものが下がってるその成因っていうところが、
0:57:22	ちょっとやはり見にくいというか、
0:57:25	ですね、わかりにくいと。
0:57:27	あとはちょっと本編の 45 ページなんか見ても、
0:57:30	ちょっとこれがさっきの植生の部分と直接関係するのかわからないですけど、
0:57:35	沿岸付近の湿地とか、これですかね澤井 2012 とか、
0:57:39	他のところを見ても、ちょっと今のは、新野側は多分、沿岸部分の査定とかできなくてもっと上の方いって本当に川の、
0:57:49	河川の堆積物だと思うんですけど、
0:57:51	澤井と上手の子衛星海岸の湿地呼称は、
0:57:56	これは当然堆積の場でもあると同時に侵食の場でもあるっていう
0:58:00	もう書いてあって、
0:58:02	さっきの植生のところ谷の方から少し根っこ葉っぱとかきっちり残っているようなものであれば、それは確かにどうどっからどう見ても、
0:58:10	そこで植生があってそこでたまったものでしょうねっていうのあるんですけど、
0:58:16	こういう、少し腐植質なものとかがそういうものも、もともとあってさらにそれが何かイベントで、
0:58:23	流れて、
0:58:26	というのがもしあれば、おそらくそれあれですか職制としては、
0:58:31	これ職制に丸がつくと。
0:58:33	なのでいいからFのどれかになりますと、もしそれでもかかわらずそうそうっていうところで、
0:58:42	単なる 24 ページの右側にある傾斜みたいなものであれば、これは矛盾しませんねと。
0:58:49	例えば構造に乱れがない。これもだから、(1)の判定結果に矛盾はしません。早々の結果も、
0:58:56	3 番目 E-5 とか見てもこれも単なる 5 ソウの中にシルトが入ってるこれもだから構造の乱れがないんで矛盾しませんね。なんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:04	あるかわかりませんよ。
0:59:06	もしそういうようなところで本当に
0:59:08	イベントとちょっと何回もくどくて申しわけないけど地域構造みたいなの。
0:59:15	ものが直前の中にあるとあんまり思えないんですけど、そういうのはその矛盾するような妄想ソウノ観察結果があれば、そこは何か何か検討の余地があるような、
0:59:25	この考え、考えなんですかねこれ。
0:59:30	ちょっとねやっぱり
0:59:32	相双の構造の乱れみたいなのところ(1)の方の判定結果と宗層の乱れのところで、何か大きくその異なるようなものがあれば、
0:59:42	何か詳細な検討をするなり、
0:59:45	実際そういうものがなかったんだと思うんですけどね。
0:59:48	ちょっとそこら辺がね、何かなんか見にくくてですね。
0:59:53	もう少し資料の方工夫いただくということなんで、注入はさすがに、
0:59:59	これはちょっと注入って名前をつけるかどうかはあるんですけど、もう完全に液状化コウみたいなのところですよ。
1:00:06	あれば、これは構造の乱れっちゅうものとは別扱ってということなんだと思うんですけどね。
1:00:15	ちょっとこういうような、前回の会合では、
1:00:19	あれかな、上川のナイトウの方から多分クライテリアみたいな言い方をしたのかな、まあ、こういうクライテリアで考えましたこういう論理構成がみたいな話も少ししてましたけど、
1:00:30	ちょっとそういうところで、つく。
1:00:32	ここの観察結果とか見ていったときに、
1:00:36	これはどこに当てはまってるんだっていうところですね、引っかかってしまうので、
1:00:43	オカなんかをいくつかコアとか少し例示して、この判定部分で、
1:00:49	確認しておきたいことがあるかと。
1:01:01	うん。
1:01:02	所長としては、補足説明資料の5章の中に、
1:01:06	なります5点一緒の
1:01:17	江藤今回ご提出補足説明資料の方には追加をす。
1:01:26	いいのか。
1:01:31	コメント。
1:01:33	はい、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:51	基本的には、
1:01:52	観察によって判断したもので、ジャッジするという。
1:01:56	ところなのでコメント回答には、その部分を、
1:02:00	掲載は、
1:02:01	して、
1:02:02	ちょっと詳細調査の部分についてはちょっと飛ばすというような形に紐付けで、
1:02:07	やらせていただいている。
1:02:24	モリモトです。
1:02:26	先ほどの利益の話だとか、ニイヌマ云々の話も、
1:02:31	崩れの話も、植生の話も結局その、この地学的背景をどう分析するんですかっていうところで、それがちょっと今、補足のほうに飛んで、詳細検討の中身は補足のほうに飛んでるんですけど、
1:02:43	もう少しどういった地学的背景を考えてるのかっていうところは
1:02:47	本編といいますか、コメント回答の中で、見える化はさせていただきます。
1:04:37	規制庁の道口ですいません。コメント回答の 24 でちょっとさっき注入のところで、
1:04:44	液状化だよねって話あったと思うんですけど、
1:04:48	堆積層の上下の境界面に火炎所の乱れがありって、
1:04:53	あって、
1:04:54	上下だからかなと思ったんですけど、利用されてる澤井さんとかのやつにも、
1:05:00	その津波堆積物でもその火炎構造みたいな。
1:05:04	特に下盤とか、下側の方とかで、
1:05:07	ちょっと未固結のところにドバツとスマート入って
1:05:11	と。
1:05:12	会員構造とか作るか 10 個の一つとして、
1:05:15	書いてあると思うんですけど、
1:05:17	そういう何かちょっと火炎上、
1:05:20	駅はどこに書いてあると、そのの違いって何なのかなどうして液状化って判断したのかなっていうところがちょっと気になるんですけど。
1:05:28	その辺ちょっとご教示いただけますか。
1:05:31	ちょっと表現は、もしかしたら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:33	もっといいものがあるのかもしれないですけど、考えとしましては、こちら、6-⑤を見ていただくと、腐植層を、
1:05:42	果汁今みたいなもので、影響与えてる菅層があってその上にもう1回腐植層が乗っていると思います。
1:05:52	基本、密度が大きいものが、三つの小さいものを削り込むということは考えられると思うんですけど逆はちょっと考えづらい。
1:06:01	ものもあるし、この
1:06:04	上下同じ腐植層で、
1:06:06	そこに砂が注入しているということが観察でも見てとれるので、これは増永はどちらかという、その腐食村長下に影響を与えたんだろうというふうにかけて注入、
1:06:20	液状化今噴砂的なところが起きて、
1:06:24	その上の泥、
1:06:26	藤風生さんよりはちょっと粒径が実際腐食度の方に入り込んだ、そういうふう判断している。
1:06:35	この時の液状化っていうのは基本的には地震動の揺れみたいな、そういうことを想定してるっていう。
1:06:41	そこ。
1:06:42	そこまでのそのことは、
1:06:44	何かやってるわけではないんですが起きるとしてはまず、地震等によるものだと。
1:06:57	わかりました。ありがとうございます。
1:07:02	すいませんあとちょっと1点だけ気になったのがさつき
1:07:05	補足説明資料のところ三野側の説明していただいた177ページなんですけど、
1:07:12	すいません。
1:07:14	左側、
1:07:18	ミイ野川12のところ拡大されたものが左側で、
1:07:22	下の凡例に、
1:07:23	赤丸でイベント堆積物が確認されなかった確認された地点であるんですけど、
1:07:30	左の図では多分こっちを意味してるんだろうなと思ったんですけど、
1:07:34	右側のその拡大。
1:07:36	前のやつ見るとここもマルがって一瞬、あれって思ったんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:40	ちょっと色を変えるとかした方でございます。そこはちょっと適正化いたします。はい。お願いします。
1:07:52	清です。教えていただきたいのは、どこかな、回答の星 39 かな。
1:08:04	海外に近い
1:08:06	から、ああいう堆積場が、
1:08:10	バラエティーとね手厚い
1:08:13	イベントが台頭説明の場所。
1:08:16	部分なんですけども、お聞きしたいのはこの、
1:08:20	外洋に面するおおよその海岸線がなぜここにあるのかそのエビデンスなり、
1:08:26	考え方を教えていただきたいんですが。
1:08:32	はい。中部電力の久松です。このあたり浜岡の前面は遠浅の地形しておりますので大体、
1:08:39	平らなところは昔海だったと考えておりますそれに対して背面、アノ基盤高くなっておりますので、その前面を今引いております。で、
1:08:51	ここ数、不正さ厚くたまっておりますので、その厚さも一定ではないので、単純に標高一というば元、
1:09:03	元地形から標高一わけにはいかないようなところですので、まず考え方として、この線の考え方としては、この高まりの前面に線を引いております。
1:09:14	実際の海面としてももう少し高かったり低かったりっていうのは、
1:09:19	よくわからないというか正確にはわかりませんが、大体こう平らなところについては、そこそ海面付近だということで考えております。
1:09:30	それはどっかへ書いていただきたい。
1:09:34	そうすると、
1:09:36	どこだったかな。
1:09:39	海外線との、
1:09:42	距離との厚さの関係は、
1:09:45	3.11 のDたと。
1:09:51	許容範囲だという図と、
1:09:55	この海岸線からの距離がそこをきかせませんかその辺はちゃんと確認されてますか。
1:10:08	はい。中部電力の森です。今間瀬さんおっしゃられた多分 70、本編の 76 ページに、
1:10:21	こちらの話ということでよろしい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:25	はい。
1:10:27	今の真ん中あたりの 7 日
1:10:30	1235、600 メートルの 10、
1:10:33	%イシタのところを敷地というのを書いておりますんで、実際海岸線がどこかっていうのわからないのでこの緑の丸が左に行ったり右に行ったりということは当然あり得ると思っておりますで、
1:10:44	そこが難しいので現状の、今はこのプロットは現状の海岸線からの距離として書いているものになります。ただこの
1:10:52	多少左に、
1:10:53	言ったらミイタリということであんまり大きく、
1:10:58	議論がされて概ね 2%だという議論の中で、プロットしているので、もう多少本来は左に行く可能性があるんでしょうけれども、そこでこの
1:11:08	図との関係が変わるということはないというふうに考えております
1:11:14	もともとが幅のあるデータなので、
1:11:20	いいんですけれども、
1:11:22	海岸線から近かったって宣言すると。
1:11:26	前の話とずれてくるので、その辺はちょっと、
1:11:30	どこかにあれを、
1:11:34	注釈なりが必要かなと思ってます。
1:11:38	はい。中部電力の盛です。こちらが今の現状の海岸線から引いているということと、当然もう少し少しかかったんじゃないかというような、今私が申し上げたような話がどこかで読めるようにさせていただきたいと。
1:11:51	先ほどから、
1:11:53	議論になってる 13 ページの、
1:11:57	フロー。
1:11:58	チャートで、
1:12:02	第、第一義的に、
1:12:07	そうそうの違うものを選び出して、それを、
1:12:12	選定基準からイベント堆積物として認定すると、振り分けたと。その結果が、
1:12:19	25 ページの表だと。
1:12:22	いうところまでは理解はしてるんですけど、
1:12:25	それならば、ちょっと資料をきちんと、
1:12:30	終えるようにしていただきたいのは柱状図、例えば、
1:12:33	どこでもいいんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:36	例えば、
1:12:38	7、今、私も開いてるな。
1:12:43	補足の
1:12:44	70、71 ページ今、
1:12:46	たまたま開いてますけども、
1:12:51	これずっと前からそうなんですけども、
1:12:55	判例からすると、上下の地層とくとなるそうソウノ。
1:12:59	地層というのがブルー。
1:13:02	00 のブルーで、
1:13:04	選定されてあって、だけど、その下の赤矢印のイベントのところにはこのブルーの丸丸がないんですよ。
1:13:14	その辺が、
1:13:16	さっきの議論になってる、
1:13:20	どうしてだろうっていう話にも繋がるので、その辺はきちんと、
1:13:24	資料を適正化していただければと思います以上です。
1:13:32	承知しました。衛藤。
1:13:34	そうです先ほど来も上下と異なるその地層の抽出があった上でっていう話もあったのでそ、そことの対応もあると。
1:13:41	そこら辺はわかりやすいように、
1:13:43	いたします。
1:13:47	原子炉規制庁の山下です。ちょっと2、3点教えてください。コメント回答資料のまず24ページなんですけど、ちょっと先ほどのお話にもあった
1:13:58	とか援助ないですか。これ、この右の方のコアの見方ちょっと教えていただきたいんですけど。
1:14:05	32 っていう数字があって
1:14:09	そこから右に移動していくとちょっと灰色ぶれっぽいのがあって黒っぽいのがあって、
1:14:16	グレーっぽいのがあってまた黒っぽいになってくれて、続いていると思うんですけど、
1:14:20	これ、それぞれに対してこの腐食層中に見られる砂層っていうのはまずどれ。
1:14:26	これが途中のグレーのやつなんですよね。
1:14:31	左、左右にあるのが、腐植層中、腐植層、
1:14:36	でよろしいんでしょうかまず。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:39	中部電力千葉です。はい、おっしゃる通り、はい、わかりましたありがとうございます。す。
1:14:44	つまり、これが、
1:14:48	腐植層中にそもそも最初に砂層が入ってたってことでいいですね。
1:14:54	はい。
1:14:56	で、
1:14:57	何か
1:14:58	それでいいですか、堆積当時ということですか。そうです。はい。衛藤。
1:15:04	今考えてるのは、もともと腐植層があった上に、
1:15:08	がたまってその間に注入を考えて、
1:15:12	それはどこから注入される、この風生須佐って書いてるところからこのグレーンド、
1:15:19	ところに入り込んでいったってことですか。
1:15:23	すいません細かいところですよ。
1:15:27	ちょっと、
1:15:32	ああ。
1:15:34	いや、つまり、ちょっとすいませんつまり簡単に言うともともとそこに腐植層の中に颯爽がもしあったとして、
1:15:42	その
1:15:43	そういうそれがもし仮に津波堆積物でしたと。
1:15:47	でさ、その、
1:15:48	もともとあった津波堆積物に対して、何か地震動みたいなのが起こって、その周りがコウ。
1:15:54	この下援助みたいになるっていうことはないんですかっていう。
1:15:59	それとは全く別物なんですかっていうと、
1:16:02	質問だったんです。
1:16:07	すいません、中電工西村です。
1:16:09	江藤。
1:16:11	主、この颯爽が
1:16:14	はい。
1:16:15	入っていたものが、
1:16:16	埋めた場合、
1:16:17	として
1:16:39	ちょっと、
1:16:40	定性的な答えになっていると思ってるんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:44	そうした場合でも、もしも、この砂層がそもそも津波堆積物の場合の想像がこうなってるのかなというところが、
1:16:56	どうなってるんですか。衛藤。
1:17:01	何かデータ、例えば僕の中に砂層があって何か今おっしゃる。
1:17:06	あと、腐食が
1:17:08	で、そこ
1:17:09	うん。
1:17:10	全体、このときの環境って腐食がたまってる環境になってくると思うんですけど、そういったものに津波堆積物が流れてくるならばもう少し腐植まじり腐食それこそ、
1:17:20	腐食の履歴等を交えながら、
1:17:23	規定、こういった早々にはならないのではない
1:17:27	そうなんでしょうか。
1:17:29	例えば、故障とか、そういうところで、
1:17:32	津波堆積物に付ける時、
1:17:34	どうなんですかね。
1:17:36	やっぱ結構まざっちゃうんですか。
1:17:42	何か変な質問してますかね。すみません。
1:17:48	ちょっと素朴な疑問。すみません森本ですけれども、今、ごめんなさい。補足説明資料の、
1:17:55	67 ページに
1:17:57	柱状図等、コア写真を全体載せておまして、
1:18:02	今おっしゃってるのはこの 6-⑤ の下の砂層、
1:18:06	これ全体が津波堆積物ではないかっていうことをおっしゃっている。
1:18:14	堆積物じゃないか、負の可能性がもしあったときに、はい。地震とかでこう揺れて、この液状孔口ってこういう乱れてしまってるっていうことを、
1:18:26	はありえないんですかっていう、なので今腐食層の下がそもそも津波堆積物で、その堆積物自体の液状化現象。
1:18:38	可能性はないのかっていう、
1:18:39	そう思うんですけどこちらの、
1:18:42	34.5 メートルぐらいからですねずっと、
1:18:48	違うな、30、
1:18:51	34.5 メートルからずっとディスポージャー見える布施砂層と我々は評価しておまして、こういったところ全然乱れもないので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:00	これがイベント堆積物といいますか、他所からやってきたものではないと。
1:19:10	そうです。
1:19:11	IEの、うん。
1:19:22	中部電力の久松です。
1:19:25	す早々いボーリング 1 本だけ見てですねその顔つき見て、判断はやっぱりできないと思ってまして。
1:19:36	その前後、当然ですね広がりを持っているものかどうかというところも、観点も踏まえてですね、
1:19:42	全面終えていきますと、
1:19:46	本編資料の 55 ページ。
1:19:49	等に、
1:19:52	コア写真を全部並べているものとか、つけておりますけど、
1:19:57	やっぱりこのこうした腐食の中に挟まる砂層っていうのは、
1:20:04	どうもここに、この
1:20:06	1 本にしか、
1:20:07	ないようなもので、やっぱり広がりという意味では、確認できないようなものです。で、やっぱり津波堆積物として大きな津波としてこう広がっていくようなものを対象に考えれば、
1:20:22	ここで、特異な構造はあって、抽出はしていますが、
1:20:26	この 1 本でこういうものがあるということで、津波とまでは言えないかなと。
1:20:32	考えています。その前面前面ずっと前見ても、どこにも同じようなものはありませんので、
1:20:40	はい。それも踏まえては、なるほど。
1:20:44	すいませんね。そうするとこの 23 ページにいつてしまうと、
1:20:50	いわゆるそれ平面的な分布の連続性がないってことを否定されたってことですよね今。
1:20:57	うん。なんか、
1:20:58	CとかD、CとかBに、
1:21:01	もう
1:21:02	かかってくる話になってるのかなっていう、ちょっと。
1:21:06	思いました。
1:21:07	また何かありましたら教えて。
1:21:21	そういうことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:22	はい。
1:21:23	そう。
1:21:24	規制庁の数字ですけどね。なんか、今の話だと正しく
1:21:28	何か、後段の広がり、
1:21:31	もともとそこに多分、この辺りは風生砂層の中に多分不足層が所々入ってそもそもそういう場で、
1:21:37	周りのところには同じようなものが
1:21:40	広がりがありませんってどこまで確認した上で、
1:21:44	最後何か決めてるように、
1:21:46	聞かれるんですよね多分実際そうなのかもしれないですけどね。
1:21:49	そうすると簡単に 23 ページみたいな。
1:21:52	ところで何かこう、(1)のところだけの結果だけでぼんと切れてるのかというと、
1:21:58	何か(3)のところも見ながら、
1:22:00	最後判定してるように、
1:22:03	聞こえたんですけどね今私は、
1:22:05	山路さんもそんな感じに聞こえます。
1:22:08	何ですかね。そうですねちょっとそこは、
1:22:11	そう、逆に言うと、この 23 ページ目のところは、何か実はこの一番(1)と(2)の間に何か別実はあって、実はっていうか、
1:22:21	それが、(1)の青で書いてる線が崩れとか植生とかいろいろ書いてるんですけど、
1:22:28	おそらくこれは津波堆積物ではなくって、
1:22:32	明らかに別のものだっていうことを特定され、
1:22:36	だと。
1:22:37	そうすると、そうすると、(1)の供給元はまで行く。
1:22:42	陸期限なんだけど、
1:22:44	その陸期限の成因を調べると。
1:22:47	確実に津波堆積物じゃないっていう判断があって、
1:22:51	で、
1:22:52	その次に多分(2)(3)に移っていくんでしょうけど、もう津波堆積物じゃないっていうのを確定してしまったから、(2)(3)は、EからHでは見てませんっていう、
1:23:04	話なのかなっていう印象を持ったんですけど、それって違う、そういうことでいいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:11	それとは違います。
1:23:15	中部電力浜野でございますちょっとニジュウサンがやっぱり、
1:23:19	自分たちがやったことと一緒にないかなと思って、今の山下さんへのご回答としましては、
1:23:27	まず当然供給元っていうのをコアで見に行きつつも、先ほど久松ご説明した通り、平面的な分布で、(2)(3)っていうのも、
1:23:36	当然見た上で、それを比較的、
1:23:43	保守的な考えで選んではいるけどそ、明らかに、先ほどの、
1:23:49	6-⑤っていうと隣の敷地の7とかの風生さんにはないので、もう局所的ですよということも考慮した上で選んで、
1:24:00	選定してないという判断が入ってますので、ちょっと23がそういう思考のルーチンが見えないもんですから少しそこは、考えたいと思いますまた、
1:24:11	例示もう、ここの1ヶ所だけつまみ出して、上下が同じふう精査であるっていうところも、
1:24:20	補足にいかないと見えないという、
1:24:22	ちょっとたてつけとしても良くないので
1:24:26	しっかりその施エルーチンとそれによるそのクライテリアがどうだっていうところをわかるようにして参りたいと思います。
1:24:35	はい。ありがとうございます。すいませんあともう1点を教えてください。24ページに戻っていただいて、
1:24:41	河成っていうところがアカセカのところがあると思うんですけど、
1:24:46	これは
1:24:49	そこがもともと河川であって、そこに、
1:24:53	他、常時溜まってたものが、
1:24:56	下、今から出なくなってそれが堆積層としてありますっていうことを、
1:25:01	おっしゃってるんですか。それとも、河川から運ばれてきてる可能性はあるけど、
1:25:07	下先生だから。
1:25:10	津波じゃありませんっていう、
1:25:12	お話になってる。
1:25:13	どちらですか。
1:25:33	中部電力の久松です。
1:25:36	補足説明資料、1170。
1:25:40	6ページに、調査地点の位置図ありますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:44	もともと、向後河川、通ってますので、旧河川も、
1:25:53	した。はい。多少蛇行しているようなもの、あると思いますので、
1:25:59	河川の
1:26:01	生成過程について、
1:26:03	では、
1:26:05	75 ページとか、
1:26:07	2、Aと書いて、
1:26:10	フジイ
1:26:17	戸田湖、河川システムでよかった。
1:26:35	中部電力の久松です。こちらの、
1:26:38	河川の清掃、
1:26:40	成層構造ということで、一般的にこういった礫層たまりますのでその中でたまっているものではないかと思っております。
1:26:49	今回これれきの形状を調べた時に、背後に
1:26:55	本
1:26:58	ミナミヤマトということで歴々でできた山賀はい、後にありまして、その山の歴々形状と比較はしております。そういったものを
1:27:11	と近いものが入ってきていると。
1:27:14	いうことを確認しておりますので背後から普通にアノカセンで、
1:27:18	流れてきたものがたまっていると考えております
1:27:28	はい、ありがとうございます。何かそれが、例えば、津波で再堆積するっていうことはありえないんですか。
1:27:40	あば。
1:27:50	野川です。今久松から説明させていただいた内容が補足説明資料の、はい。168 ページをご覧ください。と思いますけれども、
1:28:00	今
1:28:02	北川のですね、藤南山の給料、そういったところの歴々、同じようなものがきてるって位置関係こういった形になってまして。江藤カガワさんの北川。
1:28:13	こういったところのやつと似てるってところで、今言ったような、
1:28:19	陸性のものだというような判断をしております。
1:28:25	はい。
1:28:27	周辺のものに似てるってことですね。はい。
1:28:31	わかりました。
1:28:33	ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:49	規制庁谷ですけどちょっと確認したいんですけどこれね。
1:28:53	今日の確認してて、なんかいろいろ、
1:28:56	いや実はこういう背景があるんですとかいう話があって今のコウ、ただ単にこのフローで流しているだけじゃないんですっていうような話もあったと思うんですけども。
1:29:08	何か中部電力としては、例えば標高が高めのところは特にこうちゃんと見ますよとか、
1:29:15	何かそういうコウボーイこういうところが大事だからこのコウたイベント堆積物は特にちゃんとやってるんですその他は、確かにコウ。
1:29:25	言い方ここで言うのもあれだけちょっと漏れがあるかもしれないけどそこへ、
1:29:29	あまり大事じゃないんですとか、そういう軽重みたいなのはもともと持たれているってということなんですかね。
1:29:38	そうだとしたら、今の資料であんまりその辺見れてなくて、その辺の考えがねもし納得僕らもできるんだったら、じゃあこの一番上のこの何k何とかの層或いはW何とかの総こいつを、
1:29:52	特に見なきゃいけないんだなっていう。
1:29:54	お考えにもなるのかもしれないんですけども、
1:29:57	その辺何かあったら聞きますけど。はい。中部電力天野でございます。おっしゃられる通りで、同じボーリングの中に、例えば複数育っても、当然一番、
1:30:10	高いと思われるところをしっかりと確認しておりますがそれより下っていうのは、当然、そういう中から考えれば、より低いんでそんなにしっかり見てございませんしもともと、
1:30:22	先ほど申し上げた通りこの辺りで、そんなに巨大な津波があったなら当然、公的機関がやってるものでも出てくるはずで本来あるべきオーダーが定置等々でも見つかっていないと。
1:30:36	いうところも当然考慮してますので、より、
1:30:40	今谷さんおっしゃられた通り、
1:30:41	一番高いところが間違っていないかっていうところに当然軸足を置いてますので、ちょっとその辺、
1:30:47	も含めて、しっかり、ここで自分たちがやった施工のルーチンに影入れないと、
1:30:56	どうもなんていうんでしょう、一般的な津波堆積物を広くやってしまった、各論を自分たちがお示しし過ぎていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:07	何か何でしょう、木を見て森を見ずというかですね、という資料になっちゃってる気がするんでもうちょっと上流のところ、しっかり以下ご理解いただけるような書き方を、
1:31:19	取り入れたいと思います。
1:31:23	わかりました。今のところの資料では、何かその辺は全然前面には出てないですよ。
1:31:29	さっき、最初にこう主張したいことがあるんだったら1回それは聞いてみてっていう議論かなというふうに思うので、
1:31:37	ただ、間に合うかをね、ちょっと、
1:31:40	ありますけど、はい。
1:31:42	終わります
1:31:57	規制庁スズキですけども
1:32:00	あとちょっと一旦あれかなと松末の方からも少し聞いてこの
1:32:05	層厚の考察ですかね39ページは40ページを、
1:32:10	今回追加したん。
1:32:12	ねえ。
1:32:13	確かに海岸線ももとの6000年前ぐらいのなんていう垣内形。
1:32:20	なかなか復元が難しいけれどもこういう感じじゃなかったかってあれ、津波の
1:32:25	プレート間のほうの資料でしたっけなんか多分、1回見たことがあるような気はするんですけど。
1:32:29	ちょっとその海岸線っていうところを明確に聞くかどうかはさておき一応この
1:32:35	着右下に書いてある所基盤、
1:32:39	残ってる規模、現在の地表面の形では基盤がどこまで削られて基盤の形がどこまで残ってるかっていうところは、
1:32:47	およそ、
1:32:49	縄文開始の時とそうそうは変わらないんでしょうっていうところで、
1:32:54	手前にはコヤマがあるんで、
1:32:56	輿石基地三、四あたりのところは、次にまた基盤が割と高くまで残ってるのが、
1:33:03	敷地上ってとこですかね、ありますので、
1:33:07	一応式辞さんについては、ある程度、
1:33:12	少し狭隘部みたいところで局所的にたまり得る。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:16	ていうのは、前回の会合のときにも、ある程度ここも確定的な製品をやれって言うても不可能な話なんである程度推論で構わないけれどもと 言っていたので、
1:33:27	引地参与のところは、
1:33:30	一つの説明としてはですねこういう説明してるっていうのがあったんで すけど、
1:33:35	あとは、
1:33:37	タダ会合のときには、
1:33:39	別に引地さんのことだけ一番厚いやつだけではなくて、もう少し、
1:33:44	少し敷地の高いところでもといて、
1:33:47	どれだったかな、敷地の 13 これは 8.2 メートルのところに 75 銭。
1:33:53	ですね。
1:33:55	あとは 76 だった気がしますけどこれも 8 メートルぐらいのところに、これ 50 センチぐらいですけどね、あって、
1:34:03	こういうふうなものは何ですかというともう合わせて、
1:34:07	特にやっぱり高いところにそれなりのものがあるっていうところを、会合 でも確認をしてみたんですけどそっちについては、
1:34:15	何も触れられてないような気がするんですけど。
1:34:19	3、敷地さんの一番厚いものについては、確かに説明はありましたってこと なんですが、
1:34:28	はい。中部電力の久松です。コメント回答資料 39 ページの方に、もう少し 広い範囲についての
1:34:37	考え方については示しているつもりです。40 ページについては敷地さん の
1:34:46	極端に暑いのでそこを特化して、資料にしては、今菅敷地参事、ページ 39 ページの方につきましては、
1:34:55	文献等を調べますと海岸が、海岸とか谷が屈曲したり曲がっていたり、 地形の影響がによって、流速が、
1:35:06	変わったりしてそういうところで、渦なり何なりできます、流速が変わると そこで層厚が
1:35:13	起伏が大きくなりますよということが、
1:35:16	一つあります。そういったもので書いてあるのが、
1:35:23	藤。
1:35:24	一つ目の、39 ページ、一つ目の矢羽根のところに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:28	後ろの方また、狭隘で屈曲した残地であることから澤井等によると、津波の局所的な流速の変化が大きくてそこで層厚の違いが生じている可能性が考えられますということでそこに書いている。
1:35:45	おります。
1:35:53	すいません、やはりこの、
1:35:55	39 ページの一つの上の矢羽根。
1:35:58	のところで、
1:36:00	13 とか 16 とかぐらいの厚さのものだったり、20 センチぐらいになったのだったり近い場所で、
1:36:08	ですけど、このぐらいばらつくんですよということを、
1:36:11	実は言いたい。
1:36:13	ということなんですか。
1:36:16	ちょっとそういうのは、
1:36:18	きちんと、この
1:36:20	それはちゃんとどれに対してとか書いてもらわないと、わざわざ前回の会合でもですね、
1:36:26	引地さんみたいなものともう少し高いものを分けてそれぞれ、
1:36:32	したと。
1:36:33	次、当然です。
1:36:35	フィーのまとめのときにも、
1:36:36	終わったと思うんですね。
1:36:38	5 年
1:36:46	必ずもう引地さんだけの話をしてたわけではないので、
1:36:50	高いようなところ特にこれ敷地の東側かな。
1:36:55	もう 50 とか 13、10、13 か。
1:37:00	13 とか 16 があるようなところでこれ、
1:37:03	ここは、
1:37:04	かなり基盤としてもいろいろ高い、かなり高いところまで基盤が出てたりもする複雑なもの。
1:37:11	て言いたいんですかね。それに従ってそれによってかなりこのぐらいばらつくんですよという、
1:37:16	ことなんであれば、
1:37:18	それを、文献でこう言ってます、あと誤送信を課しますではなくて、きちんと御社の考えとして考察していただき、
1:37:26	ソーシャルコメント回答にならないんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:29	3 番の方は、より少し、
1:37:31	手前側の方で今日局所的な流れみたいところで、40 ページでさらに説明していると。
1:37:38	ということですか。はい。
1:37:41	中部電力の大賀です。39 ページは先ほど久松が説明した思い出は作ったところではあるんですけども、上のポチのところも最大約 3 メーターと厚いもの。
1:37:52	も見られることについてという形で、そこだけをちょっと意識しているようなふうになんかちょっと記載が見えますので、その辺も合わせて修正しつつ、ちょっと今お話あった点も含めて、修正かけたいと思います
1:38:06	はい。
1:38:07	これ今のをちょっと待ってね、ここに書いてある 30、39 ページ河津 っでこれあれ。
1:38:14	別に気バーンの高さを表す色ではなあれなんでしたっけこの、この色のスケール。
1:38:22	これ現地地形ですよ。
1:38:24	青い線が、千賀。
1:38:27	1962 年のもの。
1:38:29	ねえ。
1:38:31	何でしたっけこれ。基盤あってる。中部電力久松です。地形自体も、写真から起こしている地形になっておりますので、
1:38:41	等高線も写真から起こしているものになります。
1:38:47	だカラー、どのぐらいのところにこの辺に基盤、山谷の位置関係は基盤が反映されたもの。
1:38:56	だから一応現在の、
1:38:58	標高。
1:38:59	なり、ある程度緑から赤間です、色でスケールになってますよね。
1:39:05	これで高いようなところは、おおよそ基盤も高いんでしょうとある程度、
1:39:12	そこまで正確ではないんですが、なので少し黄色だったり赤だったり、オレンジ赤になってるようなところは、
1:39:18	基盤もそれなりに高いところがあるっていう、そういう前提ですねはい、わかりました
1:39:24	うん。
1:39:27	コメント回答されたと。
1:39:30	あとね、ちょっと待って、どこだったか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:07	根井。
1:40:08	すいません。
1:40:11	本編のね、例えばですよ。65 ページとか 66 ページ。
1:40:16	特に 66 ページなんかコメント回答のところにもいっぱい出てくるんですけど、
1:40:20	刀禰、この辺りを根井
1:40:24	わりとわかりやすくというか混乱しないように帰って、
1:40:28	いただきたいのが、
1:40:30	例えば 65 ページだと、これ分布標高っていうのは、これ多分現地形の分布表、現在の分布標高、
1:40:37	現在の標高で出していて、
1:40:40	堆積当時の標高ってのは右側にあってここで 5 メートル差っ引き今差っ引いた数字ですってなるんですけど、
1:40:47	これ突如ね、これは連続して次のページにいくと 66 ページに行くと、
1:40:52	ここで言っているまた分布標高って書いてあるんですけど、これは、
1:40:57	現在の標高ではなくって、
1:41:02	これは、
1:41:03	前のページで言う堆積当時の標高。
1:41:06	と対応しているんだりもするんですよ。
1:41:09	結構このあたりが複雑で現在の標高と、
1:41:13	そこから場所によってタウン堆積した当時は 6000 年前なのか何十年前の中で、
1:41:18	差っ引く。
1:41:20	数字でさらにはそこに津波堆積物が確認されたところプラス 2 メートル。
1:41:26	最終的には
1:41:29	0 から 8 にプラス最後 5 から 10 メートルかな。
1:41:32	いろんな数字が出てくるんですけど、
1:41:37	その辺りはね、資料の中で言い方で統一するのか、
1:41:41	おんなじ単語なんだけど別の場所では別の高さを意味します、別のページは別の意味をしますっていうのがあるんだったら、
1:41:50	それはちゃんとわかるように書いておいて、
1:41:53	ちょっとね 1 年ぶりに資料見た時に最初そこ一番混乱したのであれこれ何名あれ何メートルだったっけって、
1:41:59	いうところが一番混乱するんで、それは後から、
1:42:03	後付ですよ。当然今作ってるご本人だったり、我々今聞いているのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:09	そういう背景があるなというのを、メディア等で見ると、
1:42:14	うん。後々見たときに、ちょっとその±5メートルマイナス5メートルかな。
1:42:20	差っ引かなきゃいけないものとかを、
1:42:22	忘れて変な数字をですね、見てしまうと、もう混乱のもとなんで、
1:42:28	後は、
1:42:29	丁寧に
1:42:31	資料にしてください。
1:42:35	ちょっと今、例示で言いましたけどね承知しました。用語の使い方はきちんと統一して使い分けるようにいたします。
1:42:45	で、はい、ありがとうございます。あと、
1:42:48	これは話の中では出てくる必要があるものなんかないものだってあるんですけど今ちょうど本編の65ページとかで、
1:42:56	できていて結局敷地内で、
1:43:00	確認されたイベント堆積物、
1:43:03	これは実際の生データもちょっとばらつきがあるんですけど、
1:43:06	今日forプレゼンツで約6000年前、
1:43:11	ただ、聞く方だと、二、三、2から4000年前とか、あとは敷地の遠州灘のところでこれ文献ですかね、いろんな文献で、
1:43:22	津波堆積物を確認してやったってほとんどが融資、
1:43:26	何ですかね。
1:43:28	そのあたりのところで、別に敷地のところで6000年前の、
1:43:33	もう年来のですねイベント堆積物これがそもそも津波堆積物なのかというところがまず前提としてあるので、
1:43:39	文献では多分出てきてないようなところが出たからといって、
1:43:43	他のところにもあるはずだということに別に直ちにはならない。
1:43:47	ですけど、
1:43:48	一方で文献で言われてるようなものは識字に
1:43:53	年代のものだったら土岐側で出てきたようなものは、敷地にはないというものは、
1:43:59	これは実際に、
1:44:01	確かにその年代の層はあるんだけど、その中にはないのか。
1:44:07	そもそも敷地にその年代のうまい具合の堆積物が、
1:44:11	あまり残ってないのでないのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:15	はたまた探し方があるんじゃないのかわかりませんが、ちょっとそのあたりですね。
1:44:20	教えていただけないかなと思って。
1:44:23	別に、3000年前のものを探しに行けとかですね、演習等で見つかって選ぶとか絶対あるはずだから探すってのはおかしいじゃないかと。
1:44:30	そういうつもりではないんですけど、
1:44:32	ちょっとその辺りの関係性をですね教えてもらって、
1:44:37	はい。中部電力の盛です。本編資料の32ページに、
1:44:43	飲酒だの津波堆積物調査で見ついているイベント、
1:44:49	ガッ
1:44:50	記載しましてで、堆積物の年代も、記載をしていますんで、
1:44:55	場所によって、すごく、前の3000年前が見つかるような場所とか、もしくは、宝永のものしか見つからないような場所とか、結構その場所によって
1:45:05	どの時代だとどの場所に残るみたいな多分変わってくるというところもあって、一律にこれは残っていてこれは残ってないっていう感じではないというふうに思っています。で、
1:45:15	特に今回、我々がやってるその敷地と敷地周辺というあんまり適地ではないというのはもともとのところなので、通常宝永なんかでは起こるような対策自体がそもそも残っていない場所だということと、
1:45:28	他のところでも探されているような場所とちょっと違うようなところをやってるので同じ堆積物が残っていないのかなというふうに思っています。ただ、
1:45:37	2、30ページの方に
1:45:43	南海トラフ全体の津波堆積物調査でどんな堆積物の年代のものがみつかりますかっていうのが
1:45:54	ギャレット2016ってのをまとめていらっしゃるのをちょっと載せているんですけどこれも一律にどこが残ってどこが残ってないってことではないんですけども、主
1:46:04	と
1:46:05	し、右、右の方ですね、
1:46:09	上側がDで書いてあって下側がさかのぼって書いてるもので6000年前みたいなものが、南海トラフでは全然見つからないかというところでもなくてあるところにはあるシマないところじゃないというようなことなのかというふうに考えて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:45	中部電力天野でございます。ちょっと補足しますと、50 ページとか、
1:46:49	2、
1:46:50	これ敷地西側目。
1:46:53	書いてあるんですけど、
1:46:59	イベント堆積物が、何でしょう、オレンジっぽい色で塗ってあって、その上、黄色いのが風生さということで布施先生より下の層でこれ、
1:47:09	カーボンフォーティーン見ていただくと 6000 年ぐらいのしかなくてそれより上にそういった該当層はないっていうことは、
1:47:17	確認できてございますので、ちょっとその辺はまた読めるようにしておきます。
1:47:25	形状なんで、もともとあまり
1:47:29	この御前崎のこの辺りのところで、
1:47:32	融資、融資の年代の、
1:47:34	物を探そうとするとやっぱ適地ではないのでそもそもないっちゃうことですね。はい。別にそれならそれで結構なわけで、
1:47:41	はい。
1:47:46	何も残らないものを探してもしょうがないので、
1:47:49	はい。
1:47:51	これ。
1:47:54	さてと。
1:47:57	ちょっと掘ってみるとコメント回答だったり本編のうちのフローなり考え方の整理ですかね骨格になる部分。
1:48:10	そこは資料を直していただく必要があつ。
1:48:14	て、
1:48:17	とかね、あとわあ、
1:48:20	ここら辺の作業をすると。
1:48:29	ちょっと資料の修正どのぐらいかかるかというところはパッと今この場でお答えが難しければ、
1:48:40	ちょっと戻ってから作業工程とか積もって、
1:48:44	また、まだ、
1:48:46	お知らせいただくという形でよろしい
1:48:50	他ありますか今のうちに。
1:48:57	中部電力小川です。今日ご確認いただいてちょっと私たちの説明が足りてないっていうところ、確認、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:04	わかりましたので、その辺は修正してですね、資料の方、再提出させていただきたいと思います。
1:49:17	はい。
1:49:18	ありました。
1:49:20	ちょっとその作業見積もりもありますが、
1:49:23	そうしますか、ほかなければ、
1:49:27	あとあれかな、本件は以上にして、あとは、
1:49:32	一応、最新の、
1:49:35	スケジュールとともに、
1:49:37	ピーチ断層系ですかね調査の進捗状況ということで、
1:49:41	プレート、
1:49:43	した情報があるので、ちょっとそれを簡単にご説明いただけますかね。審査スケジュールのですね、ところは
1:49:52	多分事例の更新だったり、前回の津波の会合だったりっていうところで、なので、
1:49:59	ほとんど前半は割愛していただいて構いませんので、
1:50:03	はい。中部電力の尾川です。
1:50:06	そうしましたら審査対応スケジュールのほうをご説明させていただきたいと思います。
1:50:11	今、鈴木さんからお話あったように冒頭のあたりはこれまでの審査の実績を反映してる内容になりますので、説明の方割愛させていただきまして、10 ページ以降の参考の部分をご説明をさせていただきたいと思います。
1:50:25	10 ページご覧ください。
1:50:28	ここから敷地内ですね今地質の追加調査の状況になります。
1:50:33	1 断層系の評価に当たりましては、敷地北方のBF1 地点のSケースを上載層とした活動性評価を行うための調査を今、重点的に進めております。
1:50:44	BF4 地点からBF1 地点の反射法地震探査とボーリング調査については、一部実施中の項目もありますけれども、現場調査については概ね完了しているという状況でございます。
1:50:56	またBF1 地点でのトレンチ調査、アノフルヤD層の調査に関しましては、現地調査それからし、
1:51:05	室内試験についても完了しております。
1:51:08	それぞれの追加調査の状況ですが、まず 11 ページのところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:14	反射法地震探査の結果です。
1:51:18	BF4 地点付近より北側の地質構造を確認するために、PFの地点からBF1 地点にかけて、南北方向の 2 測線で反射法の地震探査を実施しております。
1:51:31	計測が完了しました、R04 の測線、BF1 地点に近い方の測線ですけれども、
1:51:39	こちらで獲られた追加のデータと、既往の南北測線データを合わせて採取、解析した反射記録の結果を左下に示しております。
1:51:50	この結果からはBF4 地点のH9 断層より北側においても、これまでH断層を確認している。
1:51:57	南側と同様の地質構造が認められてまして複数の南傾斜の不連続面が分布していることを確認しております。
1:52:06	続いて 12 ページは、
1:52:08	A1 級断層より北側のH断層系の詳細な分布形態と、各断層の性状を確認するために、BF4 からBF1 地点にかけてのボーリング調査を実施した結果となります。
1:52:20	19 断層よりも南側の 1 断層系と同様に、東西倉庫、南傾斜の比較的落差の大きい正断層が一定間隔で認められることを確認しております、
1:52:31	その 1 例を写真でお示しております。
1:52:35	現在ラクス断層のですね落差算出に用いる下記ソウノ対比の最終確認。
1:52:41	や、薄片等による詳細な性状観察を実施しているところでございます。
1:52:47	続いて 13 ページ、14 ページのところ、1 断層系と上載層との関係を確認するために実施しましたBF1 地点のトレンチ調査の結果になります。
1:52:58	13 ページの方は、左下にBF1 地点のトレンチの全景、右側にトレンチの展開写真を示しております、14 ページのところ、その 13 ページに示した展開図を拡大したものを示しております。
1:53:14	標高 52.5 メーターあたりに地層の境界がありまして、地層境界の所、下側が相良層、上がSK層となります。
1:53:24	相良層中には 1 断層系と考えられます正断層があり、この上位のSK 層に変位変形を与えてないことを確認しております。
1:53:33	また

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:34	SK層中のですね標高 53.5 メーター付近に火山灰層を確認しております、この火山灰層はMIS6 から 5 の境界付近に確認されている阿蘇山 Tephraの、
1:53:46	指定文組成と一致することを確認しております。
1:53:50	今後これらの調査の結果等を取りまとめでですね 3 月ごろに 1 断層系の活動性評価について、審査会合の場で改めてご説明をさせていただきたいというふうに考えております。
1:54:01	説明以上となります。
1:54:06	計上するケース、説明ありがとうございました。
1:54:11	点検
1:54:12	点を確認していきますかね、まず、
1:54:17	ページ、
1:54:19	個別後でも見ていきますけど少し、
1:54:22	調査の方は若干、数ヶ月前にお聞きしたところから、
1:54:28	反射法地震探査なんか別測線をとったりをされていて、一部まだ、
1:54:34	調査終わっていない、現場での調査が終わっていないものがあるというのはわかりました。
1:54:40	10 ページ、
1:54:44	反射法地震は探査の左側のところが計測実施中で、
1:54:51	しボーリングトレンチ、一番下は、
1:54:55	調査方法というのも、調査対象物ですけど、
1:54:59	ボーリング調査の方は、
1:55:04	あとは室内のみですねデカートレンジの方も、
1:55:08	火山灰分析まで、ここは終わっていると。
1:55:13	まだなんで、これわあ、
1:55:18	反射法地震探査がまだ終わってはヒガシが終わってないのかもしれないからかもしれないですけど、
1:55:24	今 11 ページとかで複数の南傾斜の不連続面が認められる。
1:55:32	というところで、
1:55:33	何らかこのあたり、これがいい値 10 かな 11 から 12 かなと。
1:55:38	というようなところの、ここの写真だけ、この面だけ見ての、
1:55:43	辺りはもしかしたら御社として持ってるかもしれないですけど、まだボーリングコアとかですねボーリングの記録とかさらにはこの東側の測線とかとも踏まえて、
1:55:53	最終的に、どこ、BF1、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:57	地点のトレンチのところが、1、13なのか14なのか15なのか16なのかというところ。
1:56:02	で、ここに111があります12がありますこれはH13です。
1:56:06	BF1はH14です、15です。
1:56:09	ていうところまではまだ特定は行ってない。
1:56:11	いう状況ですかね。
1:56:19	はい。中部電力の森本です。今鈴木さんおっしゃいましたように11ページの反射測線の解釈につきましては、
1:56:26	測線沿いにやっておりますボーリング調査の結果も含めて最終的な解釈をまとめている。
1:56:32	ところです。
1:56:33	12ページにボーリング調査の現在の状況を示しておりますけれども、コアとして、断層がほぼほぼ真子かなというところは特定はできてるんですけれども、
1:56:43	じゃあその断層がどれぐらいの落差持ってるのかっていうところは、基本的に凝灰岩、
1:56:47	落差の参集をやっているんですけども、
1:56:51	見た目である程度対応はできてるんですけども骨折率なのかも含めて確実に九つ値できて、
1:56:58	それがずれてるんで何メートルの落差だろうというところの分析最終確認やっているような状態ですので、
1:57:04	そこの結果も含めて、年明けてからまたご報告させていただきたいと思っております。
1:57:11	規制庁ですはい。麻生海一断層系と言っているところの落差ですね、落差の類似性みたいな。
1:57:18	はいそうなところも踏まえながら、
1:57:21	ここが10代10番目の一段、
1:57:24	先生、
1:57:26	BF1地点までの間をですね、埋めてるその作業は並行していると。
1:57:32	大井。
1:57:34	中には、今小ボーリング孔の例示ですよこれは薄片なんかも、
1:57:41	やられているってということで、13ページこれは
1:57:47	以前、この壁面の写真なんかは1回見せていただいて、
1:57:52	このトレンチ連携は今回初めてかな、かなり大掛かりではあるんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:57	これ、前も聞いたかもしれないですけど 14 ページの火山灰層ですね、ちょっとこれ火山ガラスの主成分分析結果っていうのは一応K II を例示で、
1:58:07	挙げられてるんで当然他の元素なんかもやられてるんだと思うんですし、
1:58:12	ですけど、これは一応暇、東側の面のところで写真載ってますけど、
1:58:19	一応これわあ、反対側の土肥目西井面とか西面にも同じ。
1:58:24	とか喜多とか一応周り全体、
1:58:27	出てるんですか。なんかヒガシ面のここだけ出てるのかってことじゃないですか。はい。森本ですちょっとあの写真だと、13 ページの所ちょっと見づらいんですけど、
1:58:37	ミシマの方も出ております一番その層としてはっきり見えているのがヒガシ面になるので、ちょっと写真 14 ページそれ付けてるんですけども西部の方でも、
1:58:47	踊り上といいますか、飛び飛びに連続
1:58:52	と飛んでありますけれども、1 層準に、そういった火山灰層が認められます。
1:58:58	付近のボーリングでも、確認はしておりますので、面的な広がりを持っているものと判断しております。その辺もまた、
1:59:06	介護の方ではご説明させていただきます。
1:59:12	はい。
1:59:13	状況は、これ。
1:59:17	おい。
1:59:18	そうするとこの
1:59:20	テフラ阿蘇山らしきものが 1、
1:59:23	ていたのは、大分大分前というか、
1:59:27	マツムネ谷津明マーケ入ったぐらいには、各 8 月ぐらいすかね伺っていてその、
1:59:32	実際の分析、風間分析も完了して、
1:59:37	ただいまボーリングもってということでアノし、およその進捗状況ははい。
1:59:43	わかりました。
1:59:50	ちょっと戻って、
1:59:54	一応今、東側測線のDの
2:00:00	データだったり、或いはいろんなデータを突き合わせて解釈づけをして、
2:00:05	っていうところまで、
2:00:07	いくと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:09	それが資料としてある程度出てくるというのが一応 2 月、
2:00:13	ぐらいを考えているという。
2:00:14	見込みですね。はい。
2:00:17	状況としてスケジュールと今のをすく少し時間が経ったので、
2:00:22	追加調査の状況と現状ということであります。
2:00:26	何か
2:00:27	今の段階で質問しておくことある方。
2:00:30	ほら、います。
2:00:31	なければ、
2:00:32	終わりますけれど、
2:00:34	はい。間瀬。
2:00:39	これからデータを整理してちゃんと出てくると。
2:00:42	いうのを規定してますが、
2:00:43	アサノ対比を、
2:00:46	なぜ変えてこいとしてるのか、本家本元と対比する方が早いんじゃないかと思うんですけどもその辺は、
2:00:54	ご検討ください。
2:01:00	はい。森本です。今おっしゃってるのは、火山灰の対比ですねで、
2:01:05	はい。
2:01:07	これ規制庁さんの意見にはなるんですけども、
2:01:15	その海水準変動と、
2:01:17	火山灰層序の、
2:01:20	対応を、複数の海底コアから、
2:01:23	調べられている。
2:01:25	月になりますので、
2:01:26	当然本家本元のカルデラのところのデータも、
2:01:31	カクウはお示ししようと思っておりますけれども、まずそのあたりの、どういう考えで、退避先選んでるのかと辺りもお話ご説明させていただきたいと思っております。
2:02:26	はい、規制庁スズキケースでよろしいですかね。
2:02:30	よろしければ、
2:02:31	ヒアリングの方は以上で終了します。
2:02:35	はい。以上で終了します疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。